

足立区議会自由民主党
足立区議会自由民主党は、区内の生活向上のために、左記のとおり要望した。(抜粋)
○区内本店業者への指名と支店業者の厳密な実態調査を実施されたい。
○耐震・改修工事においては、災害時復旧の対応が緊急にできる、区と防災協定を締結している業者を選定されたい。
○電子データによる設計図書を提供されたい。
○契約書提出時の画面について、電子データによる提出を検討されたい。
○前払金限度額の引き上げを検討されたい。
○子育てや介護を相互扶助していける家族「大家族主義」に対する優遇策を設定されたい。
○消防団倉庫の適正な配置のため、設置しやすいよう要綱の緩和等を検討されたい。
○議会活動充実のため、区議会事務局職員の増員を図られたい。
○区内共通商品券を、より一層積極的に活用されたい。
○子育て支援バスポート事業の支援をされたい。
○空き店舗の再利用を検討されたい。
○足立ブランドの普及促進の支援を充実されたい。
○清掃・リサイクル事業は、区内に移管された利点を生かし、民間委託等経費節減に努力されたい。
○太陽光発電システムの早期普及を図られたい。
○公共施設におけるLED照明の普及を図られたい。
○「薬用植物の研修会」や「医薬品適正使用の啓発」のための補助制度を創設されたい。
○都・区施行の区画整理事業地への地元業者参入の支援を継続されたい。
○5歳児健診を実施されたい。
○耐震診断及び補強工事助成制度を充実されたい。
○都・区施行の区画整理事業地へ
○舍人公園において、花火大会等、

足立区議会公明党
○生活習慣病健診の文書料の補助を検討されたい。
○教育委員会との協力、講演会の開催、広報等により予防接種率の向上に努められたい。
○在宅難病患者・居宅生活支援事業への保健所のかかわりを充実されたい。
○手話通訳養成・派遣の無料実施を継続されたい。また、都の手話通訳の派遣も継続するよう働きかけをされたい。
○公立保育園と認証保育所との負担格差を是正するため、保護者への保育料助成を増額されたい。
○私立保育園の運営充実費を増額されたい。
○区展への助成を拡大されたい。
○特別永住外国人の無年金者に対する助成を実現されたい。
○期日前投票所の増設を図られたい。
○日本共産党足立区議団
日本共産党足立区議団は、多くの方々と懇談し、区民の切実な願いをまとめ、要望書を提出した。主なものは次のとおりである。
○国民健康保険料の値上げをせず、住民税方式を維持するよう、特別区長会等に働きかけること。
○透析患者をはじめ災害弱者への支援や避難訓練を行うこと。
○地デジチューナー購入及び共同アンテナ付替支援を行うこと。
○後期高齢者医療制度での高齢者差別の仕組みを廃止し、再検討するよう、国へ働きかけること。
○クレアチニン検査等、特定健診項目の拡充を行うこと。
○介護保険料は値下げし、負担軽減策については、資産要件を撤廃すること。
○待機児解消のため、認証保育への更なる助成と保育ママの増員、成制度を創設されたい。
○幼児用自転車ヘルメットへの助成制度を創設されたい。
○待機者数に見合つよう、特養ホームを増設し、用地購入費及び核・平和事業を拡充すること。

足立区議会民主党
足立区議会民主党は、全20項目を要望するが、主なものは次のとおりである。
○大学等の教育研究機関誘致に引き続き努められたい。
○学童保育室の待機児解消及び障がい児の受け入れ拡大を、早期かつ計画的に進められたい。
○NPO・民間と区との協働推進条例を作成するとともに、育成支援に努められたい。
○休日開庁を月2回実施し、千住区民事務所の夜間窓口時間を延長されたい。
○多文化共生を推進するため、条例化等検討されたい。
○空き店舗対策として「シェアリングショッピング」や「子育てサポート」の導入を進められたい。
○あだち若者サポートステーションをさらに活用するため、区教委・学校は、保護司・民生委員等との連携を強化されたい。
○青年の雇用実態を調査し、区の施策に生かすこと。
○非正規雇用の若者が、区の健診を受診できるようにすること。
○中小企業融資について、金融機関への預託金をつくり区の責務を果たすこと。
○あらゆる発注、公共事業において区内業者優先を貫くこと。
○公共サービスに働く労働者の最低賃金を引き上げ、委託業者等への指導を強めること。
○生涯学習センター、総合スポーツセンター、こども科学館の指定管理者運営を中止すること。
○小児科二次救急の整備及び第三次救急医療施設の誘致に取り組まれたい。
○疾病、事故等による中途障がい者が社会復帰できるまでの、総合相談窓口を設置されたい。
○声案内システムを拡大されたい。
○公共施設や公園に「誰でもトイレ」を設置されたい。
○心身障害者福祉手当を精神障がい者にも支給できるよう働きかけられたい。
○介護施設・事業者に対し、人材確保・育成支援を行うこと。
○介護型療養病床の廃止による行き場のない高齢者の受け皿づくり対策を講じること。
○温室ガスの削減目標(10%)を引き上げること。
○ユニーバーサルデザイン推進のため、ステップアップ講師を拡充されたい。
○介護型療養病床の廃止による行